

トウホクサンショウウオ

(学名 : *Hynobius lichenatus*)

[有尾目サンショウウオ科サンショウウオ属]

只見町では、4月下旬頃から産卵のために水場集まるトウホクサンショウウオの姿が観察でき、半透明のひも状の卵塊が多数見られるようになります。



トウホクサンショウウオは、東北地方、新潟から関東北部の標高数百メートルの低山帯に多く生息する日本固有種です。水場周辺の湿った林床の倒木や落ち葉などの下に潜っていますが、夜になるとエサを求めて林床を徘徊します。

なかなか出会う機会はありませんが、繁殖期には、産卵をしに集まったトウホクサンショウウオを観察することができます。約3週間ほどで、オタマジャクシのような幼生が孵化し、ほとんどの個体は冬になる前に変態上陸をします。

環境省の準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）に指定されています。

特別展示

○只見を再発見！ 「自然首都・只見」展

只見町の自然・文化・生活を、パネルや実物展示で紹介します。

期 間：7月16日(祝・月)まで

第16回 ブナセンター 講座

○森林の恵みとその背景～生態系サービスを考える～

講 師：中静透さん(東北大学大学院・生命科学研究科教授)

日 時：6月16日(土) 午後1時30分～

自然観察会

○身近なブナ林を歩く

日 時：6月17日(日) 午前9時30分～

場 所：只見町榎戸地区など(ただみブナと川のミュージアム集合)

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

豪雨災害による支援

多くの皆様から、お見舞いなどのご支援をいただいております。
誠にありがとうございます。いただきました支援金については、
災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

支 援 金 6,571,934円 (61件)
6月4日現在